

※ 11月14日(火)の号外は出張のため休載とさせていただきます。

① 米ドル

「FRBは適切であれば追加引き締めも躊躇しない」

というパウエル議長の発言を受け、フェドウォッチは来年5月もFFレートは現状維持を予想。

来年5月のFOMCから利下げになるとの従来の予想が大きく転換しました。

これを受けて、米ドルが上昇。

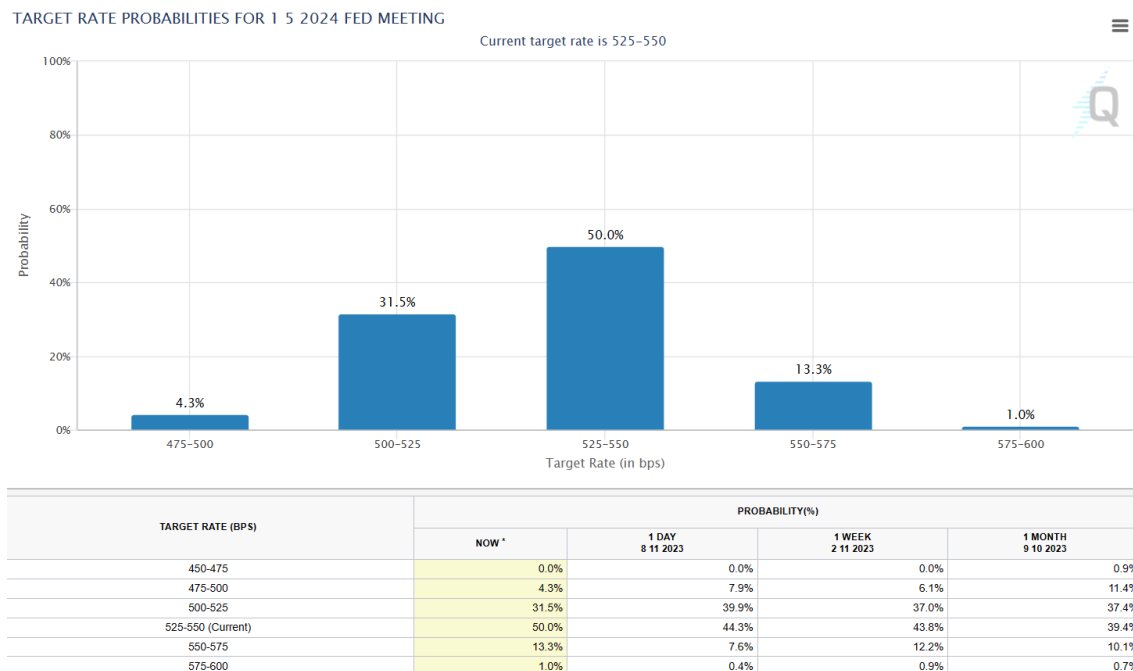
1ドル=151.35円前後となっています。

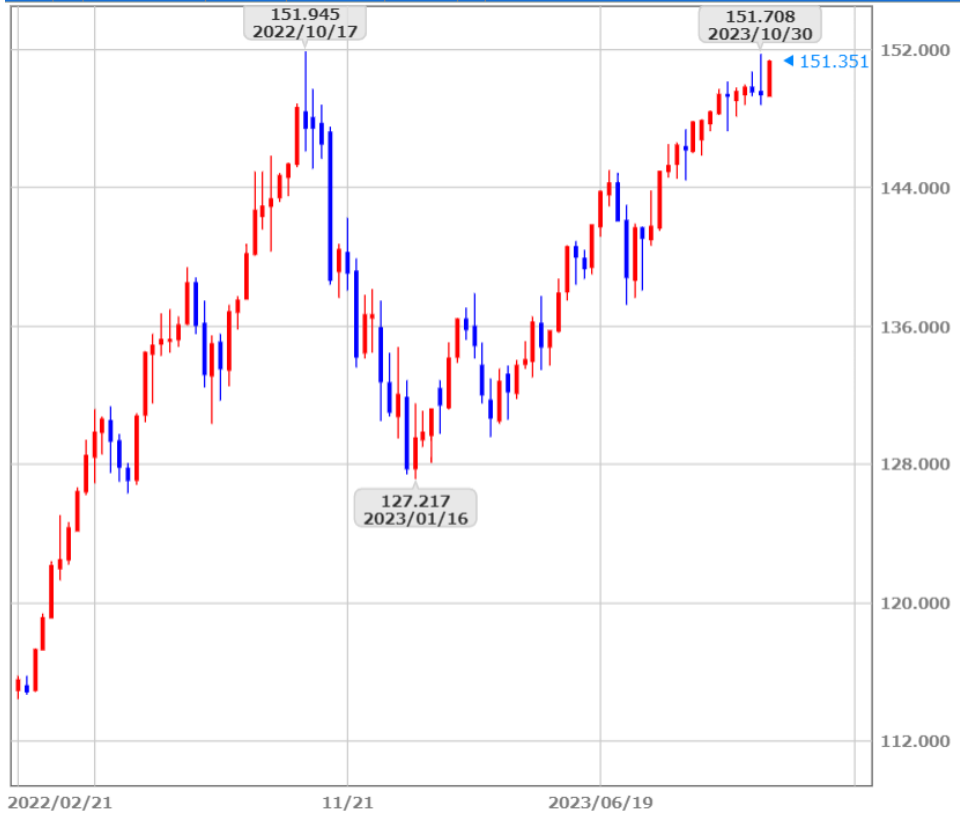
昨年10月17日の1ドル=151.94円と、今年10月30日の151.70円を突破しますと、160円台を目指す展開になると思います。

どうも本格的に日本の個人金融資産が、預貯金から外貨建て資産に向かっているようです。

この流れはまだ始まったばかりであり、為替の水準をほとんど気にしていません。

ビックリする水準まで円全面安が展開する可能性があると感じています。





② 中国

※参照:日経電子版

中国の物価が停滞している。国家統計局が9日発表した10月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比0.2%下がり、3カ月ぶりに下落した。雇用不安を抱える家計の節約志向は根強く、耐久財などの販売がさえない。消費回復は勢いを欠いている。

10月は食品が4.0%下がり、下落率は9月の3.2%から拡大した。食肉消費の6割を占める豚肉が3割安となったほか、生鮮野菜や食用油など幅広い品目で値下がりした。

耐久財も販売不振に伴い価格下落が続く。自動車やバイクは4.8%、スマートフォンなど通信機器は3.8%下落した。マイナス幅はいずれも9月から広がった。

主要国の中央銀行が物価の趨勢を判断する際に注視する「食品とエネルギーを除くコア指数」の上昇率は0.6%にとどまった。9月から0.2ポイント縮まった。2022年4月から1%以下の低空飛行が続く。

家計が消費に回す金額が同じであれば、食品など必需品の値下がりですべての商品やサービスにお金を振り向けやすくなるはずだ。最近のCPIにそうした兆しは見えない。

雇用の改善が遅れているためだ。中国人力資源・社会保障省によると、9月の都市部新規雇用は前年同月比5%減った。落ち込み幅は1月以来の大きさとなった。

⇒ 本格的に中国の景気が悪化してきています。

中国から撤退する外資系企業が増え、雇用が減少し、消費が伸び悩んでいます。

不動産大暴落、株価大幅下落。

「灰色のサイ」はいつ暴走するのでしょうか？

③ ミドルエリザベス金貨

ここ1ヵ月ほど、円建て金価格上昇もあり、動画視聴者の方から新しく金貨が欲しいというお話が増えています。日々の地方講演からも、日本人が本格的に円安とインフレに備え始めたように感じています。

いきなり大きな金額から始めるのはなかなか抵抗がある方も多いのではないのでしょうか。

ミドルエリザベスの70鑑定ウルトラcameoは、そんな初めての方に適した1枚ではないかと思えます。

各年20~50枚しかありません。

ぜひ、誕生日・結婚年などお問い合わせいただければと思います。

1996年 イギリス ミドルエリザベス 2ポンド金貨

NGC PF70UC(最高鑑定:20枚)



1996年 イギリス ミドルエリザベス 2ポンド金貨

5ポンドと同様に70鑑定の枚数は少ない
ミドルエリザベスの2ポンドはまだ40万円前後

Year/Mint	Denom	Desig	Total	62	63	64	65	66	67	68	69	70
1985	2SOV	PFUC	158			1		1	12	24	79	41
1990	2SOV	PFUC	122			1			5	6	61	49
1991										7	59	31
1992										4	35	28
1993	2SOV	PFUC	86				1		2	6	46	31
1996	2SOV	PFUC	57							5	32	20

70鑑定UCを先日12-13枚
プロの方が確保してくれました

Year/Mint	Denom	Desig	Total	62	63	64	65	66	67	68	69	70
1995 END OF WORLD WAR II	G2PND	PFUC	74			1		1	1	7	34	30

④ 東証リート指数

1803 ポイント ▲12 ポイント。

1800 ポイントを下回りますと、大きく下落する展開になると予想します。

オフィスビル仲介大手の三鬼商事(東京・中央)が9日発表した10月の東京都心5区(千代田、中央、港、新宿、渋谷)のオフィス空室率は、前月比 0.05 ポイント低い 6.10%だった。

平均賃料は1坪(約3.3平方メートル)当たり1万9741円だった。前月比9円(0.05%)安く、39カ月連続で下落した。新築ビルが同114円(0.42%)安の2万6811円。既存ビルは同20円(0.10%)安の1万9626円だった。

これだけインフレになっても、既存ビルの賃料は上がらないんですね。

まだまだ JREIT には投資できない状況です。

【東証リート指数:3年】

